



伊丹市マスコット たみまる

広報伊丹

この号の主な内容

- 2面 春の全国交通安全運動
- 3面 粗大ごみのインターネット受け付け開始
- 4面 伊丹デジタルミュージアムオープン
- 5面 健康 6・7面 みんなの窓

人口 ● 195,641(-1,151) 世帯数 ● 83,959(+338)
 2024年3月1日推計 ()は前年3月1日比
 発行・伊丹市広報・シティプロモーション課

〒664-8503兵庫県伊丹市千僧1-1 TEL072-783-1234(代表) ファクス072-784-8107(広報・シティプロモーション課) ホームページ <https://www.city.itami.lg.jp>

令和6年度当初予算

未来へつなぐまちづくり

令和6年度の一般会計当初予算は、市民の皆さんの生命と暮らしを守り、未来を担う子どもたちの成長を支える「未来への投資」に重点的に予算を配分した結果、前年度比42億円(5.1%)増の総額870億円となりました。問い合わせは、市財政企画課TEL784・8028へ。

歳入

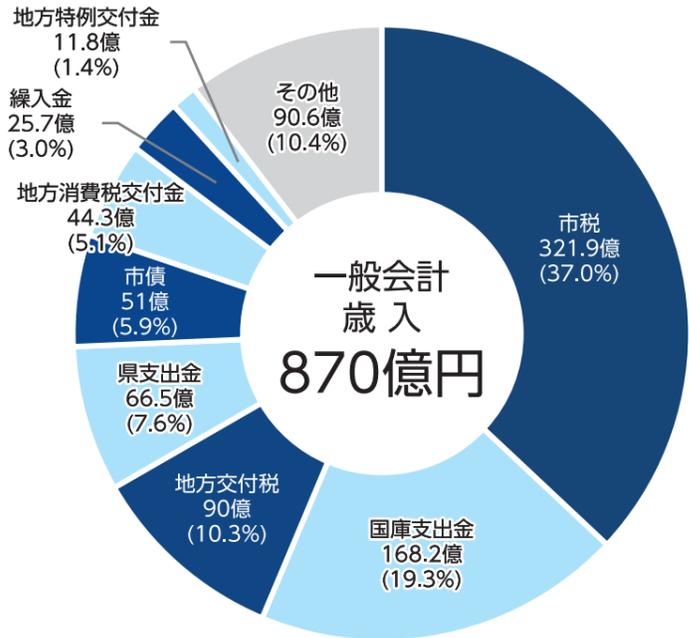
市税収入は堅調

歳入の根幹をなす市税収入のうち法人市民税は企業業績の伸びなどにより4億5千万円増加、固定資産税・都市計画税は評価替えなどにより2億3千万円増加する一方で、個人市民税

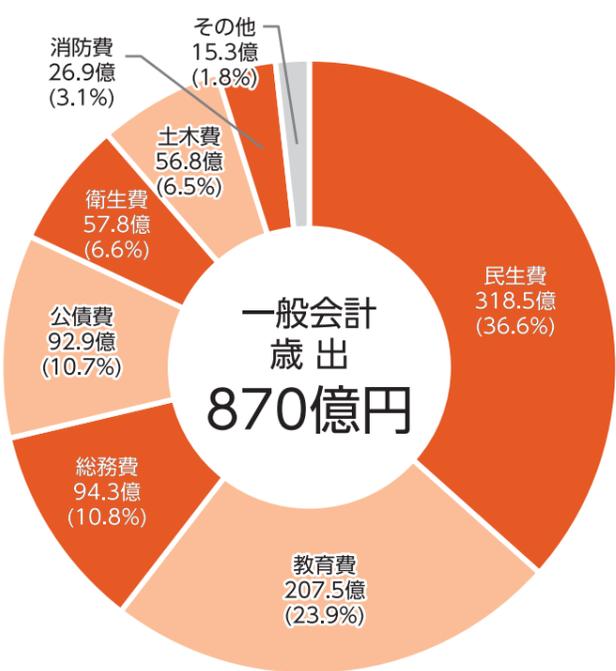
市債は増加

は定額減税などにより7億6千万円の減少となることから、前年度比7千万(0.2%)減の32億9千万円を見込んでいます。なお、定額減税による減収分約9億4千万円については、地方特例交付金として全額国費で補填される見込みであり、国の定額減税がなければ、市税収入は増加傾向を維持できている状況です。

歳入



歳出



歳出

民生費は増加

児童手当が拡充されることに加え、社会保障関係経費の増加などにより、前年度比19億9千万円(6.7%)増の318億5千万円を見込んでいます。

教育費は増加

阪神間では初となる中学校給食の全額無償化のほか、全ての市立小・中・高等学校の体育館に空調設備を整備する施策の実施などにより、前年度比22億円(11.9%)増の207億5千万円を見込んでいます。

6年度予算の
詳細は、市ホームページ(下記)から読み取り可で確認してください。



ふじしろ ひとし 市長

予算編成にあたっての私の思い

今、時代は大きな転換期を迎えています。世界では、AI技術の飛躍的な向上や地球温暖化、ウクライナ・パレスチナ問題など、変化や課題に直面するとともに、国内では、経済が空白の30年を脱して新たなフェーズに入る一方で、人口減少の加速化が予測されています。

こうした情勢の変化が速い時こそ、行政運営には明確なビジョンのもと、大胆かつ計画的な施策の実施が求められます。

私は市長就任以来、行財政

各会計当初予算

会計区分	令和6年度	対前年度比
一般会計	870億円	5.1%
特別会計	394億5千173万2千円	2.5%
内訳	国民健康保険事業	174億1千521万7千円 △4.4%
	後期高齢者医療事業	35億8千765万1千円 8.0%
	介護保険事業	184億722万3千円 8.9%
	鴻池財産区	1千294万6千円 7.0%
	荒牧財産区	1千685万1千円 5.0%
	新田中野財産区	1千184万4千円 4.9%
公営企業会計	712億8千616万8千円	0.2%
内訳	病院事業	307億3千515万7千円 14.7%
	水道事業	64億3千266万4千円 △6.7%
	工業用水道事業	4億9千461万1千円 △20.2%
	下水道事業	76億6千96万3千円 2.6%
	交通事業	27億6千182万8千円 △0.4%
	モーターボート競走事業	232億94万5千円 △12.6%
合計	1977億3千790万円	2.8%

改革により本市財政の健全化を図るとともに、「まちづくりは人づくりから」と申し上げ、子ども施策に注力してきました。そして今、健全な財政状況を維持しつつ、「未来への投資」として、子どもの健やかな成長を支える環境整備や子育て世帯の経済的負担の軽減施策の推進に、一段ギアを上げて進めることとしました。

令和5年度には、中学生までのことも医療費に関して所得制限などを撤廃し、完全無償化を実現しました。そして6年度には、中学校給食の完全無償化や小学校給食の食材費物価上昇分の公費負担などに加え、避難所としても利用される学校体育館に空調機器を整備します。

他にも、お伝えしたい施策はまだまだまだたくさんありますが、福祉・教育・消防・インフラ整備・産業振興など、広範多岐に

わたari、このコラムではとても紹介しきれません。本市の施策を盛り込んだ令和6年度当初予算は、本市の事務事業の執行計画でもあり、市民のみなさんからお預かりした税金をどのように割り振るかを示したものです。市のホームページで概要を公開していますので、ぜひご覧いただき、その取り組みを知っていただけたら幸いです。

第6次伊丹市総合計画に掲げる将来像「一人の絆 まちの輝き 未来へつなぐ 伊丹」の実現を目指し、今年度も、市政運営に全力で取り組んでいきます。

(伊丹市長 藤原 保幸)

6年度当初予算(案)主要事業の概要(PDF)は、市ホームページ(下記)から読み取り可で確認してください。

